

特定非営利活動法人
マナー教育サポート協会 会報誌

第 15 号

まなべル まなぼう



<目次>

- | | | |
|------------------------|-----------|--------|
| ■ 支え合い | 理事 岸田 輝美 | (P 2) |
| ■ 教育現場の声 | | |
| 家庭科の授業におけるマナー教育への取り組み | 早川 尚子 | (P 3) |
| ■ 「職場体験学習」事前マナー研修を体験して | 村上 智美 | (P 5) |
| ■ キッズフェスタ | | (P 5) |
| ■ 花天の会「青葉の集い」 | | (P 6) |
| ■ 認定講師の誕生 | 第6期生の皆さん | (P 7) |
| ■ 活動報告及び予定 | 事務局・各事業部長 | (P 10) |
| ■ 正会員様と賛助会員様ご紹介 | 事務局 | (P 12) |
| ■ 会員募集のご案内 運営体制 お問い合わせ | 事務局 | (P 13) |

支え合い

理事 岸田 輝美

会員の皆様、当協会の活動にご賛同いただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

私が住んでいる千葉市稲毛区の浅間神社周辺では、6年前から「稲毛あかり祭・夜灯」というお祭りが、11月に行われています。昔、海の町で栄えていた稲毛は、新月の晩にカンテラの灯りで潮溜まりの魚を獲った遊びの漁「夜とぼし漁」が行われていました。この光景をヒントに、稲毛の町を海に見たて、カンテラの代りは灯籠の灯りで町を照らそうと、地域の人々が中心となって作りあげたイベントです。



その年ごとに決まったテーマで、地域の子どもたちが和紙に絵を描き、スタッフたちと灯籠の形にして、お祭りの当日ロウソクに火を灯し、町を照らします。手づくりの灯籠は、始めは2,000個がだんだんと増え、今年は8,000個並ぶ予定です。

このイベントに惹かれた理由は、子どもが地域の様々な年代の人たちと関わりを持つことができるということです。核家族が増え、共働きの両親、友達も、自分も、習い事で忙しい。このような現状を受け止め、どう対処していけばよいのか悩んでいる時に「夜灯」のお手伝いを引き受けました。当時、小学校のPTA会長をしていたということもあり、子どもたちに想いを伝えながら一緒に灯籠を作るワークショップを担当しました。第1回目からずっとお手伝いしています。灯籠作りも学校の先生に委ねてしまえば簡単ですが、大学生や地元のご年配の方をスタッフに、学校の理解を得て授業時間の中で行います。それは、子どもたちに地域との繋がりを感じ取ってもらいたい、ふるさと稲毛への愛着の心を育てていきたいと願うからです。

私は、子どもたちにお願いします。「もしおばちゃんが年取って杖をついて歩くようになったら、誰かがおばちゃんの代わりにやってね」って。それは、「町の記憶を未来に伝え、暮らす人々の繋がりを大切に、この町を夢あふれる町に」という夜灯の趣旨であり、私の願いでもあります。彼らが大人になった時に、ワークショップのスタッフとして参加してくれる、そんな形でこのお祭りがずっと続いていったら、素晴らしいだろうなあといつも思います。

マナーを子どもたちに伝える当協会の活動も同じだと感じています。マナー教育サポート協会の活動を通して、夜灯を通して「顔見知りが増えた」、同じ町、同じ国に暮らしながら、知り合うきっかけのなかった人たちが活動を通じて“顔見知り”となり、道で会えば挨拶が交わされる。マナー教育サポート協会の活動の輪が全国にもっともっと広がっていくことを願っています。

「千葉県 青少年相談員」

講師養成講座で学び、マナーを取り入れた授業を職場で活かしていらっしゃいます、花天の会（認定講師の会）会員の早川尚子様にご寄稿いただきました。

家庭科の授業におけるマナー教育への取り組み

認定講師 早川 尚子

こんにちは、マナー講師養成講座 4 期生の早川尚子(ひさこ)です。現在、東京の私立大学付属の中高一貫校で、高校の家庭科の教師をしています。マナー講師養成講座で得たものを、教育の現場でどのように実践しているかを、簡単にご紹介させていただきます。



現在、高校の家庭科では「人の一生と家族」「保育」「高齢社会」「消費生活と環境」「食生活」「衣生活」「住居」などの内容を扱うことになっています。もう 18 年ほど前になりますが、男子と女子が同じように家庭科を学習する男女共修化を機に、以前よりも社会的に幅広い分野を取り扱う授業内容になりました。生徒達にはより実生活に沿った授業内容であるため、家庭科の授業は教育現場でマナー教育の要素を比較的に取り入れ易いといえます。

実際の教育現場では、コミュニケーション能力をはじめとする「社会面での習慣」を子ども達へ身につけさせる事は、その人間形成の上で重要性が増しており、礼儀や作法などのマナー教育が改めて見直されてきています。そのため、マナーだけを取り扱った冊子を作っている出版社もあり、一部の中学校では「総合的な学習の時間」に使用されています。高等学校においても生徒達が良き「社会面での習慣」を形成するためには、その一端を家庭だけでなく学校でもしっかりと担うべき時代が来ていると感じます。そこで、私なりにマナー教育を教育現場で実践してみたいと考え、人に自信を持って指導する為に先ずは自分自身でマナー教育を学び理解すべく、マナー講師養成講座に参加させていただきました。

家庭科では様々な観点から「食」に関する学習をしますが、マナーを通じた食文化の継承などは実践的な側面も配慮しながら授業に取り入れています。私が計画した授業では、日本の文化的要素も取り入れたいという理由から、特に「和食のマナー」に重点を置いています。例えば、和食の調理実習に続いて「和食のマナー」に関する簡単な映像資料を見せることで生徒達の興味を促し、各シーンの補足説明を加えながら生徒達の自発的な学習行動へとつなげています（『表 1. 和食のマナー学習計画』を参照）。

表1. 和食のマナー学習計画

映像資料に収録されている内容	補足説明
①座敷のマナー 座敷に上がる時 和室の席次 座布団の座り方 座礼の仕方	訪問する際のマナー 和室の作り（床の間を中心に） 洋室や車の席次 立礼の仕方
②日本料理の種類	日本料理の歴史
③箸の扱い	箸の話（箸の種類等）
④食事のいただき方	一汁三菜の配膳など
⑤食事をいただく時のマナー	食事の時の話題など

日本人として馴染みの深い和食であっても、正しいマナーや文化的な背景を知る機会
は意外と少ない様で、生徒の関心は高い傾向にあります。この授業の中では生徒の発言
は非常に活発で、普段はメモを取らない生徒もプリントの空白にはしっかりと図入りの
メモがしてあったりして、生徒それぞれが興味を持って授業に参加しているという感触
があります。また、私は授業以外のホームルームでも、機会をみつけては、季節や学校
行事に関連する話題を「ミニマナー講座」形式で話すことにしています。生徒へマナー
について話す際に、私が特に注意している点は「なぜそうするのか」を必ず解説して納
得させることです。そうすることで生徒の理解が深まり、授業を超えて実践につながりや
すくなるからです。毎年、年度末に生徒へ授業のアンケートを取っていますが、その感
想の中には「時々出てくるマナーの話が面白かった」や「マナーについてもう少し教え
て欲しかった」などの声が意外に多く、私の取り組みへの大きな励みになっています。

生徒達は周囲の人と「心地よい人間関係」を築く力を身につけたいと思っています。
彼らは社会に出てからマナーが自分の為になることを漠然とであっても知っているよう
です。ですから、機会を設けて丁寧に教えさえすれば、生徒は驚くほど素直に吸収し成
長していきます。私が生徒と直接向き合う時間は、高校生活という限られた時間の中だ
けです。その中で彼らには出来るだけ沢山の良き「社会面での習慣」を身につけてもら
い、今後も豊かな人間関係を築いて充実した人生を歩んで欲しいと願っています。その
ためにも、私自身もマナー教育を教育現場で自信を持って実践しながら教壇に立てるよ
うに今後も努力していきたいと思っています。

「職場体験学習」事前マナー研修を通して

認定講師 村上 智美

7月8日、「職場体験学習」事前マナー研修のため、荒川区立第三中学校様へ行って参りました。

事前に担当の先生と電話で打ち合わせをした際、様々なご要望をいただきました。先生の熱意と研修への期待の高さを感じ、私もいつも以上に準備に力が入りました。

1コマ目は体育館で総合的な学習を行います。約110名の生徒達は初めて受けるマナー研修に少し緊張した様子です。私をまっすぐ見て、一生懸命話を聞いてくれていました。当日はとても暑かったのですが、途中に「マナー常識クイズ」を交えながら、生徒達は最後まで集中して頑張ってくれました。

2コマ目は教室に戻り、クラスの仲間の前で挨拶・自己紹介の練習です。思春期という事もあってか、他の中学校では恥ずかしがって、なかなか進まない事が多いのですが、今回はとても素直な生徒が多く、きちんと練習をしてくれて感心しました。「物の受け渡しは相手に正面を向けて渡しましょう…」という話をすると「お皿（食器）にも正面があるのですか？」と質問まで飛び出し、その『意欲的な姿勢』に感激しました。

研修が無事に終わり先生にご挨拶申し上げたところ、「生徒が飽きないように内容をよく工夫されていますね。」と喜んでいただけた様子で、嬉しく思いました。これもひとえに先輩講師の方々のご尽力の賜物です。

私はマナー講師としてデビューしたばかりですが、先生・生徒達との出会いに感謝し、『意欲的に学ぶ姿勢』を忘れず、自己研鑽に努めてまいりたいと思います。



丸の内 キッズフェスタ IN 東京国際フォーラム

2011. 8.15(月)～17(水)

“延べ11万人のお客様が来場しました”



今年で3回目！！ NTT コムウェア株式会社様のご協力のおかげで、当協会も出展することが出来ました。

また、株式会社味喜重朗商店様・吉井商事様より、子どもサイズの割箸をご提供いただきました。

皆様からのご支援を心より感謝いたします。有り難うございました。



◎協力：NTT コムウェア株式会社

◎運営：NPO 法人マナー教育サポート協会

* * * * *

花天の会 コンベンション

青葉の集い

2011. 7. 2(土)

ANA インターコンチネンタルホテル36階 MIXX にて、ソムリエ・バーテンダーによる講座“バーラウンジでのエレガントな振舞い方”を学びました。



第6期生 講師認定 合格おめでとうございます

<合格者> 榎本 米子 兼俊 奈央子 高橋 清美

田丸 朋子 林 裕美 保木本 清美 * 敬称略



平成23年4月、新たに6名の認定マナー講師が誕生いたしました。

そこで、認定講師の方々に、ご寄稿いただきました。

皆さまの、更なるご活躍をお祈りします。

そして、これからもご縁がありますように…

講師養成講座を受講して

認定講師 保木本 清美

「マナーの講演会があるからいらっしゃい」と上司から声をかけられました。それが、私がマナーと出会うきっかけとなりました。

マナーの講演会なんて行儀作法や、堅苦しい事をずっと聞かされるのだろうと正直なところあまり乗り気ではありませんでした。

しかし私の想像していたものと、その講演は全く違っていました。自分を美しくみせるため、恥をかかないために身につける礼儀作法ではなく「マナーは愛」「マナーとは相手の立場と気持ちを理解しその気持ちを形にしたもの」という岩下先生のお話により、気づけば感動に涙を流し、あっという間に2時間の講演が過ぎていました。

もっと先生のおっしゃるマナーを学びたくて、NPO法人マナー教育サポート協会講師養成講座を受講しました。

私達は物にあふれた日本に生まれ、食べ物に困ることもなく、家族に囲まれ、贅沢すぎるくらい恵まれて過ごしていると思っています。一方で、人との付き合いが希薄になっていると感じることも少なくありません。私も時々むなしさを覚える事がありました。相手は自分と違うと感じてしまったり、心ない人の言動に傷付いてしまったり。

でも、そんな事もこの講座を受けて全て自分の心次第だと思えるようになりました。その時々に合わせて、どういう風に振る舞えばよいのかも分かるようになりました。マナーの知識を得ることによって、自信を持って行動できるようにもなりました。何より講義に出席し、先生方やクラスメートと勉強していると心から癒されている私がいまいました。

マナーを知り、思いやりの心を持ってお互いを大切にしている。そんな人々に囲まれていると、こんなにも心地よいものなのだと感動しました。



相手のことを大切にするためのマナー。多くの方にこの事を伝えていきたい。マナーを通して、誰もが気持ちよく生活できるように、力不足ながら尽力していきたいと思っています。

講師養成講座での教えをしっかりと胸に刻み、マナー教育サポート協会認定マナー講師として恥じる事ない生き方をしなければと思っています。

講師の認定をいただいて

認定講師 林 裕美

とても素晴らしい同期生に恵まれて、毎回笑いが絶えず楽しく大変勉強になった講師養成講座の様子を思い起こすと、お伝えしたいことが沢山あることに気が付き、改めて先生方のご指導に心からの感謝の気持ちで一杯になっております。

その中で、私が講座を受講することになりましたきっかけと、今後への想いを書かせていただくことにいたしました。

私の家は父が小さな会社を経営しており、母は私が物心ついたころから経理事務・営業と何でもこなし父の片腕として、とても忙しく働いておりました。母は家庭より仕事優先、それは我が家では当然のことでした。その母が突然、私が結婚して間もなく癌とわかり数年の苦しい闘病生活の末、亡くなりました。

当時、私は幼い子どもたちの子育てと、母の看病とで精一杯の毎日でした。母を亡くした悲しみに暮れる中、葬儀の手配やお世話になった方々へのお礼など、やらなくてはならないことが次から次へとありました。その時になって初めて自分に何も知識がないこと、母から何も教えてもらっていなかったことに気が付き呆然としました。

また闘病中に加え葬儀の後、母の長年の友人の方々などたくさんの方から、母や私たち家族を気遣う温かい励ましや悲しみに寄り添うお気持ちを沢山いただきました。ところがその優しいお心遣いにどのように感謝の気持ちを伝えたらよいのか迷いながら、形式ばかり考えたお礼にこだわってしまい、そのことに何か違和感を残したまま時間が過ぎてしまいました。当時の私は“相手を思う気持ちがあってこそその形”ということがはっきり分からないまま過ごしていました。お世話になった方々に心からの感謝の思いを伝えられなかった未熟な自分を反省し、今でも申し訳なく本当に悔やまれます。

そのような時に、岩下先生のマナーに対する思いを綴った写真入りのエッセイに出会いました。“私に足りなかったのは心だ”とスッと入ってくる感動と運命的な出会いを感じました。

そして、私のように両親が忙しいなど様々な理由があり、マナーとは相手に対する思いやりの表現なのだと、気付いていない子どもたちに、そのことを伝えていくお手伝いがいつか私にも出来れば・・・という思いを抱き、講師養成講座で勉強を始めました。

現在、新米講師であるにもかかわらず、大学を卒業して間もない方達にマナーのお話をするという素晴らしい機会をいただいております。

講義の後、「マナーって堅苦しくて疲れると思っていたのですが、それは自分がかっこよ



く見せようと思ってばかりいて相手のことを思っていなかったからだとわかりました。」などの感想を頂いて本当に嬉しくなります。

現代社会では試験の成績やスポーツなど、目に見える結果を出した人が評価されがちで、目に見えない気持ちの評価が少ないように感じます。しかし、私は生きていくうえで大切なことは結果を出すことだけではなく、優しい心や相手を思いやる気持ちの人間性にもあると思います。そして幼い時だけでなく中高生になってもそのことを伝え続け、言葉に出してもっともっと褒めて自信を持たせてあげるべきではないかと考えています。

今後のマナー教育サポート協会の活動を通して、微力ですが少しでもそのことを伝えていくことの一部を担えましたらと思っております。未熟で至らないことばかりですが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

マナーを学び始めた私

認定講師 高橋 清美

少し前の話ですが、アナウンサーの仕事をしていた時「姿勢が良くない」「箸の持ち方がおかしい」などと、視聴者の皆さんから厳しいご意見を頂いた事がありました。いま振り返ると、それが「私がマナーの勉強をしようと思った」きっかけでした。



それからというものマナーの本を片手に学び、練習する日々でしたが、その時は理解したつもりでもいざ現場に出ると忘れてしまう事が多く、なかなか生かせない現実がっかりしていました。

そんな時、縁あってNPO法人マナー教育サポート協会でマナーを学ぶ機会に恵まれました。そこで初めてお会いした岩下先生の「皆さん、マナーは謎解きですよ」の言葉に驚きました。

「何故？玄関でコートを脱いでから入るの」「何故？お茶を出す時は順番があるの」「何故？エレベーターの乗り降りはお客さんが先なの」。

ひとつひとつ考えながら先生に解説いただくと、不思議なほど頭に入ってきてその後は決して忘れる事はありません。

またマナーとは、相手に対しての思いやりあふれる行為である事に気付かされました。それまでは自分が恥をかきたくない、人から格好いいと言われたいなあなどと体裁を気にしていた浅ましい人間だった様に思います。

さらに、講義の途中センスのない私に「あなたはマナー講師というより、吉本のお笑いさんに向いているわね」（笑）と言って下さった先生のコメントが今は良き思い出であり、現在の自分の仕事に対する戒めになっています。

講師と言うタイトルを頂きヨチヨチ歩きをはじめた私ですが、皆さんとマナーについて共感出来る瞬間がたまらなく幸せです！
今後ともどうぞよろしくお願い致します。

活動報告及び予定

活動結果報告（第9期上期：2011/4/1-2011/9/30）

【講師養成事業部】

- 4月 プロフェッショナルコース開講（第7期生）
- 4月 初級コース開講（第8期生）
- 4月 協会認定マナー講師資格 認定授与式（第6期生）
- 9月 プロフェッショナルコース修了（第7期生）
- 9月 初級コース修了（第8期生）



【研修事業部】

◆子どもを対象にした講演

- 5月 英才予備校伸学院様、
- 6月 都立小山台高校様、品川区立荏原平塚学園様、市村関東自然塾（男子・女子）様、荒川区立第五中学校様、文京区立第八中学校様、中野区立中央中学校様、都立小山台高校様、
- 7月 足立区立花畑北中学校様、荒川区立南千住第二中学校様、足立区立第六中学校様、足立区立栗島中学校様、荒川区立第三中学校様、江戸川区立清新第一中学校様、足立区立花畑中学校様、足立区立加賀中学校様、荒川区立第九中学校様、
- 8月 葛飾区立上平井中学校様、
- 9月 葛飾区立常盤中学校様、板橋区立上板橋第三中学校様、台東区立御徒町台東中学校様、文京区立第六中学校様、JFA アカデミー福島（女子クラス）様、千葉県立天羽高校様、足立区立第六中学校様、足立区立伊興中学校様、

◆大人を対象にした研修・講演

- 8月～9月 NPO韓日社会文化フォーラム様（インターンシップ事前研修）

◆ビジネスマナー

- 4月～9月 株式会社NSG コーポレーション様（就職支援研修）
- 7月 株式会社マサキ・エンヴェック様（社員研修）
- 9月 株式会社佐野物流センター様（社員研修）

◆協会主催イベント

- 7月 花天の会（認定講師の会）「青葉の集い」
ANA インターコンチネンタルホテル36階 MIXX
- 8月 丸の内 キッズフェスタ 「ゲームで覚える食事のマナー」
東京国際フォーラム

【業務サポート部】

- ・教材作成
- ・会報誌作成
- ・ホームページの維持管理

活動予定（第9期下期：2011/10/1-2012/3/31）

【講師養成事業部】

- 10月 中級コース開講（第8期生）
10月 初級コース開講（第9期生）
10月 協会認定マナー講師資格 認定授与式（第7期生）
2月 初級・中級コース修了試験

【研修事業部】

- 10月～3月 株式会社 NSG コーポレーション様（就職支援研修）、
JFA アカデミー福島（女子クラス）様、千葉市立稲毛中学校様、
英才予備校伸学院様、足立区立西新井中学校、
- 11月 葛飾区立桜道中学校様、葛飾区立立石中学校様、
新宿区立牛込第三中学校様、
JFA アカデミー福島（男子クラス・女子クラス）様、
- 12月 三郷市立北中学校様、江東区立第二亀戸中学校様、

*上記ほか、多数ご依頼をいただいております。

ご支援いただいている皆様 (五十音順)

- イーハウス・アーキ・コラボレーション様 (<http://www.e-house.gr.jp/>)
- 市村自然塾様 (<http://www.szj.jp/>)
- 株式会社 NSG コーポレーション様 (<http://nsg-corp.net/>)
- NTTコムウェア株式会社様 (<http://www.nttcom.co.jp/>)
- 株式会社NTTデータ様 (<http://www.nttdata.co.jp/>)
- 菊地道子税理士事務所様
- 株式会社グローバルシティ様 (<http://www.globalcity.co.jp/>)
- 興南プレス工業株式会社様 (<http://www.tcn-catv.ne.jp/~kounan-press>)
- コメスタ・ドーム株式会社様 (<http://comestadome.jp/>)
- 三晃商事株式会社様 (<http://www.sankoh-group.com/>)
- サンルートプラザ東京様 (<http://www.sunroute-plaza-tokyo.co.jp/>)
- 株式会社スリーライト様 (<http://www.threelight.co.jp/>)
- 学校法人誠真学園小中台幼稚園様 (<http://www.ans.co.jp/k/konakadai/>)
- 株式会社峠喜重朗商店様 (<http://www.to-ge.co.jp/>)
- 播磨機工株式会社様 (<http://www.sankoh-group.com/>)
- 株式会社万葉軒様 (<http://www.manyouken.co.jp/>)
- 吉井商事様 (<http://www.yoshiishoji.com/company/>)
- 株式会社リコー様 (<http://www.ricoh.co.jp/>)
- NPO法人りすシステム様 (<http://www.seizenkeiyaku.org/HP/home.html>)
- レストランおまかせ亭様 (<http://www.omakasety.com/>)

相津美幸、秋葉節子、新井ヒデ子、飯泉幸雄、伊藤誠一、伊藤康子、伊藤弥生、
 稲垣裕久、今村光子、岩下宣子、岩下義弘、岩渕武、梅津稔、梅本久美子、江口和美、
 大江美弥子、大藪昌代、岡本祐子、小澤葉奈子、思早苗、折原みよ子、香月泰、
 勝田晶子、加藤恵子、加藤幸子、鐘ヶ江美和子、兼川哲子、神山美智子、川岸秀子、
 菊池洋子、岸田輝美、木ノ原誠司、熊澤厚子、藏満勝子、黒須裕代、古関裕美、
 河野多紀、金野裕子、佐藤近子、佐藤元昭、重松照代、島崎和子、志水千代、鈴木敏夫、
 鈴木初江、鈴木秀子、鈴木美和、大徳はるみ、田口和司、田口理恵、竹沢澄、竹浦道子、
 田中幸子、田中昌子、田中ゆり子、田辺由香里、土田美子、都築サチ子、寺内政子、
 土肥誠、富田久子、中嶋洋子、長塩由美、永山利之、西山弓子、根本博史、野崎文乃、
 野田頭よし子、萩原多美子、萩原美江子、早川尚子、藤井敏信、藤野勲、古屋隆、
 東田香代子、星野久子、前田美智子、松井憲子、松尾祐子、松村早苗、松本栄子、
 松本桂樹、三浦和昌、三浦順一郎、三浦千賀、南節子、向山邦子、向山ひろ子、
 向山浩司、向山代志子、村上智美、森下はるみ、森山雪枝、湯浅智子、湯浅暢子、
 吉田育代、吉田富美子、吉村景美、和田香代子、渡辺キ卫、渡邊ひろみ、渡辺有希、
 和田真哉 (五十音順、敬称略)

Thank you



会員募集のご案内

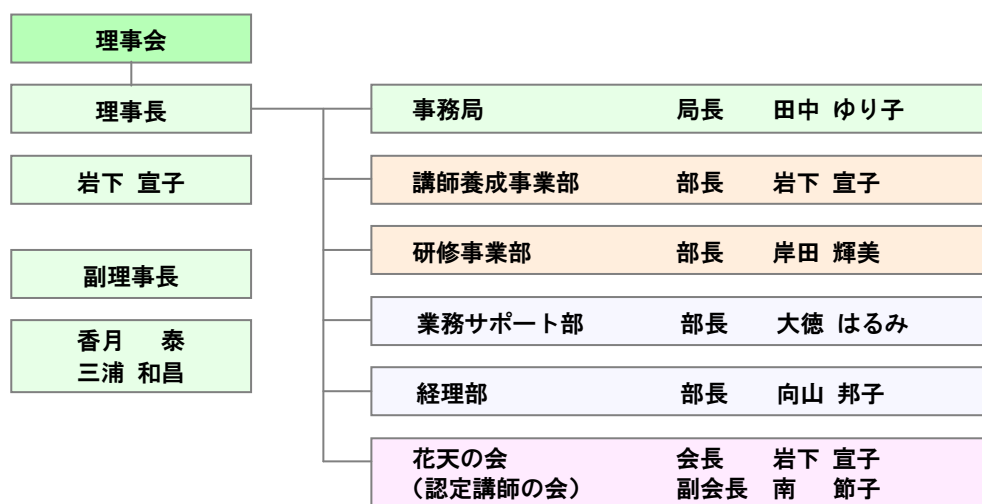
会員は、活動主旨に賛同し、支援して下さる個人または法人の皆様です。

年会費 正会員（個人） 5,000円
 賛助会員（個人） 2,000円
 賛助会員（法人） 10,000円より

私たちの活動にご理解を賜り、ご支援ご協力くださいますようお願いいたします。

運営体制

活動を円滑に進めるために次のような運営体制を設けております。



お問合せ

特定非営利活動法人 マナー教育サポート協会

認証番号：15 生都協市特第 1585 号（平成 15 年 11 月 5 日東京都）

所在地：東京都千代田区九段北 1-9-5 朝日九段マンション 1117 号
 （不在の時もございます。御用の際はご予約をお願いいたします。）

電話：03-3239-0229

FAX：03-6272-9300

メール：e-manners@eagle.ocn.ne.jp

ホームページ：<http://www.e-manners.org>

2011 年 10 月 22 日発行（年 2 回発行予定） 発行・編集・制作＝特定非営利活動法人マナー教育サポート協会

Copyright ©2011 NPO Manners Support Association. All rights reserved.

イラストの一部は「Microsoft office online のクリップアート <http://office.microsoft.com/ja-jp/clipart/>」のものを使用しています。